

立石泰広 代表質問（令和6年12月3日）

1. 政治姿勢 予算編成方針

令和7年度の予算編成上の留意点として、全事業の見直しによる効果的・効率的な財源配分を掲げ、見直しの手法として、改善の4原則E C R Sを用いている。今回、この手法を用いるに当たって基本的なことを伺う。

- (1) 市では裁量の大きい事業、302事業、34億円程度を中心に、縮小や廃止をしようとしているが、この302事業とはどのようなものか。
- (2) 現在の事業、いずれも重要な事業だと認識しているが、今後、廃止や縮小をしなければならないものの基準をどのように考えているか。
- (3) 枠配分方式から1件査定方式へ変更するということだが、今までと何をどのように変えるのか。
- (4) 令和7年度から10年間の財政見通しに触れて、財政調整基金の取り崩しが3年間で7億円余り記載されている。10年以内には大型事業も予定されており、本市の財政見通しをどのように考えているか。
- (5) ふるさと納税は、令和5年度寄付額12億8000万円余、実収支で4億円余の収入だった。今後さらなる取組を期待するが、その戦略を伺う。

2. 政治姿勢 市長の1期目の3年半を振り返って

令和3年度の選挙戦における市長のマニフェストや、これまで、議会での一般質問を受けて市長から市民に向けて様々な考え方が示されてきた。そこで、重要と考えられる点を拾って伺う。

- (1) 企業誘致や新事業の創出、製造品出荷額等の目標達成状況については、振り返って、どの程度実現できたか。
- (2) ICTを活用した子供たちの人間力・課題解決能力の育成については、その思いは実現できたか。反省する点はないか。
- (3) 図書館、児童館、保育士奨学金制度についてはどの程度実現できたか。
ア 世界のデータベースへのアクセス、電子書籍などデジタルコンテンツの活用など、新しい時代の図書館の在り方を、新設を含め研究する。
イ 浅羽支所は、にぎわいの拠点施設とする方向で、児童館の要素を取り入れた施設として利活用が図れるよう検討する。
ウ 市において、県の制度の周知とともに、奨学金制度の効果や保育士確保に資する支援制度を検討する。

3. 政治姿勢 地方創生

石破内閣が誕生して、2カ月になろうとしているが、所信表明演説で「これまでの反省と成果を生かし、地方創生2.0として再起動させる」との方針を打ち出した。そこで、本市の地方創生について伺う。

- (1) 国の方針を受けて、袋井市の第3期の地方創生を、どのように組み立て計画策定していくのか。
- (2) 「第2期輝く”ふくろい”まち・ひと・しごと創生総合戦略」
 - ア 総合戦略全体で73指標を掲げて目標管理を進めているが、第2期総合戦略の取り組みをどのように総括しているか。
 - イ 総合計画では、政策や取組に各指標を掲げて、その進捗状況について4段階の評価をしているが、地方創生の取り組み指標と総合計画の各指標との整合は、どのように図られているか。
 - ウ これまで袋井市は地方創生に係る交付金は国からいくら戴いたのか、その費用対効果、成果を伺う。

4. 政治姿勢 デジタル

本市では、令和5年度までの「第3次袋井市ICT推進計画」を継承・アップデートした「第1次袋井市デジタル推進計画」（令和6年度～10年度）を、令和6年4月スタートさせた。そこで、本計画の展開について伺う。

- (1) 本市におけるフロントヤード改革では、どのように進めようとしているのか。浅羽支所の「らくらくサポート窓口」利用のメリットはどうか。
- (2) 本計画の中には、デジタルリテラシー向上など、16の施策が謳われている。これらの施策の推進には、多額の事業費も見込まれる中、市としてどのような目標を定めて推進していくか。
- (3) 本市には、デジタル戦略官、デジタル専門官と呼ばれる人材が4人活躍している。それぞれが担当する業務の状況はどうか。
- (4) 本市における現在のAIの導入・活用状況はどうか。また、今後、どのようなAIの活用が期待できるか。

5. 中小企業振興

先の9月議会において、本市の中小企業及び小規模企業振興基本条例が制定され、来年1月から施行される。中小企業等の事業者・働く皆さん双方に心強い大きな支えになる。そこで、今後の施策展開について伺う。

- (1) 本市では既に中小企業等に様々な施策を展開しているが、この条例の施行を機に、令和7年度、新たな施策の事業化をどう考えているか。

- (2) 商工団体の要望や意見などを踏まえ、令和7年度の中小企業支援をどう考えているのか。
- ア 袋井市中心市街地等空き店舗対策事業
 - イ 袋井市特産品開発事業
 - ウ 個店の魅力の発見と発信事業
 - エ 浅羽地域での空き店舗の紹介やチャレンジショップの開設
 - オ 市内中小企業における人材確保への支援
 - カ 事業環境変化及び物価高騰対策への支援
 - キ 小規模事業者の課題解決DX推進支援
- (3) 労働団体の要望にどのように対応するのか。
- ア 令和8年の障がい者法定雇用率引き上げに向けた事業所と求職者のマッチング、障がい者が働きやすい環境の整備支援
 - イ ワークライフバランス等職場環境の改善支援
 - ウ ハラスメント防止に関する法改正の趣旨や防止策の周知

6. 子育て支援施策（小松市視察から）

小松市では「子育てするならダントツ小松市」のキャッチフレーズで、市長を先頭に、充実した子育て支援を市外に積極的にPRしている。そこで、小松市の視察で学んだことを元に、袋井市の子育て支援施策に提案する。

- (1) 下記4事業は、袋井市にない小松市独自の子育て支援事業であるが、袋井市でも導入可能と考えるがどうか。
- ア 赤ちゃん紙おむつ定期便（生後3ヵ月～1歳、毎月1回）
 - イ 妊産婦タクシー利用料金助成（3000円券4枚）
 - ウ 子どもの任意予防接種費用助成（～高校、おたふく風邪以外も対象）
 - エ 給付型奨学金支給（高校・高等専門学校、5万円/年、返済無）
- (2) 小松市では、子育て施策をペーパー一枚にまとめてPRしている。袋井市では教育委員会の事業も、小松市では市長部局で一元管理している点は、今後袋井市でも参考にすべき点と考えるがどうか。